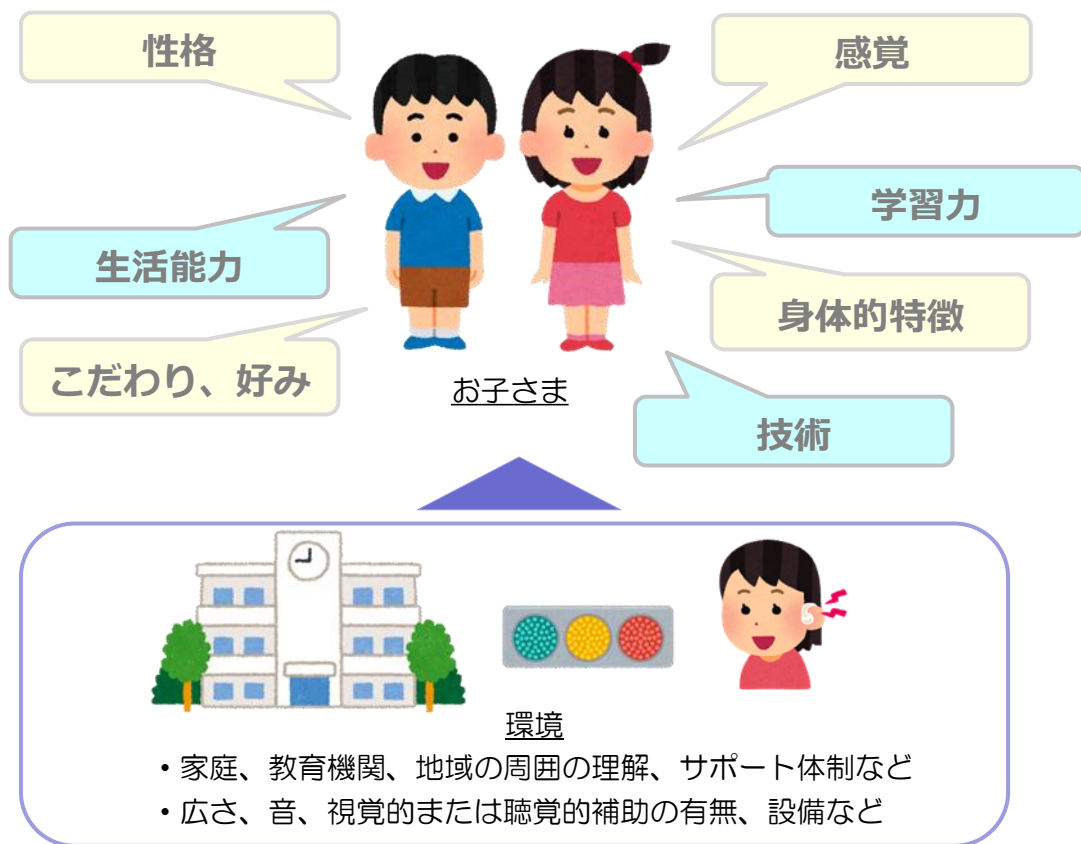


それぞれのお子さまに合った 接し方やサポートをすることが大切です。

前ページの行動や状況は、お子さまがわざとやっているのではなく、何かに困っているからなのかもしれません。

成長のスピードや、成長の仕方は一人一人異なります。それぞれのお子さまの特徴を踏まえ、その子に合った接し方をしたり、環境を整えてあげることで、お子さまの困りごとを減らすことができます。



ご家庭のみでなく、様々な相談機関から情報を得ることで、
お子さまに合った接し方やサポートを見つけたいと思います。

ご家庭でできる
工夫について



P. 3

相談先
について



P. 22



どうしたらよい？

ご家庭で工夫できる接し方

ポジティブな関わり方をしましょう。

- できなかったことを叱るのではなく、できたことを褒めましょう。
- 「それはダメ」と否定するのではなく、どうすると良いかを伝えましょう。

伝え方を工夫しましょう。

(例)

- 短い文章で、具体的に伝えましょう。
- 写真や絵などで示しながら伝えましょう。
- 1日の活動の流れや、予定の変更などについて事前に伝え、見通しを持てるようにしましょう。



ご家庭で工夫できる環境の整え方

困っているお子さまの中には、感じ方（感覚）に特徴がある方が多くいます。お子さまが苦手なものと上手に向き合えるよう、安心できる環境をつくってあげましょう。

感覚の過敏さ

(例)

- 特定の音を過度に嫌がる
→音が聞こえすぎたり、特定の音が痛く聞こえていたりする場合があります。イヤーマフを活用しましょう。
- 乗り物の中のおいや食べ物のおいを嫌がる
→マスクをしましょう。
- 服を着ることを嫌がる
→タグや生地が痛いと感じる可能性があります。タグを切ったり、好きな生地を探して心地よく着られる服を何枚か用意しましょう。
- 冷たい水やシャワーを嫌がる
→水を痛いと感じているかもしれません。濡れタオルを活用しましょう。

